117期通信

北海道小樽潮陵高等学校１学年通信
令和２年６月17日（水）発行　　第７号
潮陵１学年団

☆部活動も本格始動

６月８日（月）から朝テストの実施や週末課題への取り組みなど、ようやく通常の学校生活が戻ってきました（依然、感染拡大防止に配慮し続けなければなりませんが）。それに加えて部活動の練習も本格的に始まりましたね（この学年の生徒会執行部を含めた部活動の加入状況はもう少しあとにお知らせします）。本来、運動部の１年生であれば、４月５月は先輩方と活動をともにする中で部の雰囲気を肌で感じ、５月末の高体連小樽支部予選で先輩方を応援しながら３年生の勇姿を目に焼き付け、これからの自分をイメージする、といった形が一般的なのかなと思います（中には、この時期からからバリバリ活躍する１年生もいますが）。今年は、潮陵祭の開催も危ぶまれる中、運動部に限らずあまり３年生と活動をともにしていない１年生が多いかもしれません。また例年は、４月５月は２・３年生がメインとなって活動するため、体力的にもややゆとりのある状態で１年生は部活動に参加していました。

つまり、部活動の流れを考えても今年は例年と全く違います。スロースタートできていた例年とは違い、６月から授業も部活動も一気に始まりました。そんな状況ですから、生活リズムが安定していない人もいるのではないでしょうか。中学校のときと比べて、起床時間が２時間以上早くなった人もいると聞いています。この６月が例年の４月と同じような位置づけであると考えるのであれば、この時期は高校生活のペースを掴むことが大切です。部活動と学習の両立を目指し、いち早く自分に合ったライフサイクルを見つけてくれることを切に願っています。君たちの中には今後、部活動が自分の高校生活の大きなウェイトを占めていく人がいることでしょう。先輩後輩との関わり、仲間との切磋琢磨など部活動での経験を通して、人間力を高めていく人も多いと思います。先生方は、高校３年間部活動に打ち込む皆さんを心から応援しています。

☆２週間後は定期考査

２週間後は、高校入学後初めての定期考査があります。今回はこのような形で実施しますが、例年であれば４日間日程で１日３科目程度です。また、本来であれば数学が８０分間で考査を実施するなど、各教科によって実施方法は様々です。

さて、学習に関わる一般的な話をします。授業をしっかりと理解するためには、「予習→授業→復習」の学習サイクルが最も効果的だという話は４月当初にお伝えしました。予習でわからないところを明確にして、授業でその疑問点を解決し、学んだことや理解したことを復習に取り組んで整理することで、授業にしっかりとついていくことができます。

また、高校の授業はただ「受ける」だけではなく、「自分で学習する」という意識を持って取り組むことが大切です。ノートを活用することも重要なポイントです。あるデータによると、成績上位者の約８割が「板書と重要だと思ったことをノートにとる」と答えたそうです。板書を写すだけでなく、先生の口頭での説明も書き留め、重要点に印をつけるなど、後で見直しやすいノートを作っておくとテストでも役立ちます。

定期考査２週間前の今、自分の学習スタイルや授業の取り組み方などを見直してみるといいかもしれませんね。

前期中間考査時間割

7月2日（木）

1　国語総合（8:35～9:25）
2　数学Ⅰ①（9:40～10:30）
3　英語表現Ⅰ（10:45～11:35）
4　現代社会（11:50～12:40）

7月3日（金）

1　コミュ英Ⅰ（8:35～9:25）
2　世界史Ａ（9:40～10:30）
3　生物基礎（10:45～11:35）
4　数学Ⅰ②（11:50～12:40）